

平成30年度 第1回赤磐市教育委員会定例会議事録

- 1 開会日時 平成30年4月19日(木) 午後3時00分
- 2 閉会時間 午後4時15分
- 3 会議場所 赤磐市立中央公民館 2階 第2会議室
- 4 出席委員 教 育 長 内 田 惠 子
教育長職務代理者 大 崎 陽 二
委 員 日 名 智 子
委 員 山 本 賢 昌
委 員 平 松 由 香
- 5 説明者 教 育 次 長 藤 井 和 彦
教育総務課長 安 本 典 生
学校教育課長 松 井 啓 子
社会教育課兼
スポーツ振興課長 土 井 道 夫
中央公民館長 杉 原 泉
中央図書館長 矢 部 寿
中央学校給食
センター所長 久 山 勝 美
教育総務課
副 参 事 竹 下 充
- 6 書 記

議 事

1 教育長等の報告

- 公 開 教育長の報告について
- 公 開 5月の教育委員会行事予定について
- 公 開 平成30年度赤磐市教育委員会事業計画について
- 公 開 平成29年度末校長・教員等人事異動の概要について

2 議案の審議

- 公 開 平成30年度赤磐市教育振興重点目標について
- 公 開 赤磐市費負担教員の任用等に関する規則の一部を改正する規則について

3 その他

- 公 開 チャレンジデー2018の開催について
- 公 開 次回定例会開催日について

※非公開の議事については、議事録は公開されません。

○内田教育長 こんにちは。ただいま定刻の午後3時となりました。出席委員が定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

これより平成30年度第1回赤磐市教育委員会定例会を開会します。

本会の議事録に署名する委員として、山本委員を指名します。

本会の議事録作成の職員として、教育総務課竹下副参事を指名します。

前々回、平成30年2月15日開催の第11回教育委員会定例会の議事録につきまして、お目通しをいただき、ご異議等がなければ、ご承認をいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 はい。それでは、第11回教育委員会定例会の議事録については、ご承認をいただいたということで取り扱いをしてください。

続きまして、議事に移りますが、本日の会議に付議された案件は、(1)「教育長等の報告」、(2)「議案の審議」、(3)「その他」についてです。

それでは、(1)教育長等の報告に移ります。

初めに、教育長の報告について報告します。

1枚おめくりください。

委員の皆様方には、小学校・幼稚園・中学校の卒業式及び入園・入学式にご出席いただき、ありがとうございました。また、年度末・年度初めの教職員の退任式・着任式のご出席もありがとうございました。

小学校の卒業式、私は石相小学校に行ってまいりました。人数は少なかったんですが、大変歌声が大きくなって、きれいだったなという印象を受けました。男子の声がよく出ていて、よく出ますねって言ったら、この学年は歌声がよく出る学年でしたというお話でしたが、どこの学校でもああいうようにきれいな声で歌うことができたらいいなというふうに思いました。

それから、3月24日土曜日には交通安全看板設置式、これは多賀地区の交通事故を受けて実施されたもので、地域住民の多くの方々の参加をいただき、横断幕2枚それから看板2点、のぼりを数本を多賀地区と今井地区2カ所に分かれて設置してまいりました。

それから、3月26日月曜日にはサムライジャパン強化合宿歓迎セレモニーが熊山運動公園でありました。大変よい天気、サムライジャパンの関係者の方々も環境的にもとてもよいと気に入っていただきました。代表選手なだけに体の締まりというか、つくりとい

うか、やっぱり違うなと思って眺めてきました。こういうように来ていただいて環境的にいいなというように体感をしていただくというのは、一番のPRになるのかなというふうに思いました。

それから、4月1日、環太平洋大学の入学式に行ってきました。卒業式は市民会館でしたけれども、これは環太平洋大学の中の体育館で行われました。学生がつくる、学生が運営するというので、式典の流れ、それからバックに流す映像、それから司会進行、構成は学生が行います。学長、理事長、来賓等の者は学校側が示すんでしょうけれども、その流れに沿ったものをすべて学生がつくっていました。

4月8日には、城山公園まつりがありました。大変風が冷たくて強い一日でした。桜も散っていたんですけども、途中ツツジが大変いい盛りでして、ツツジが本当きれいでした。今回は吉井中の中学生がもう企画の段階から参加して、自分たちでできることを模索してきたということで、中にはお店ではポップコーンの販売をして頑張っていました。それから、吹奏楽の演奏もあるということでしたが、ちなみに夢百笑はたこ焼きを販売しておりました。おいしかったです、どっちも。こういうようにいろんなところで中学生も参画しながら地域の行事が盛り上がっていくということをいろんなところで見えるようになってうれしいなと思いました。

以上です。

質疑、ご意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 はい。では、質疑なしと認めます。

では次に、5月の教育委員会行事予定についての報告を求めます。

○安本課長 教育長。

○内田教育長 教育総務課長。

○安本課長 教育総務課安本です。

それでは、資料のほう2ページ、3ページをお願いいたします。

平成30年5月の教育委員会行事予定につきまして、重立ったものを各所属からそれぞれご報告のほうを申し上げます。

まず、2ページの一番左のところ、教育委員会行事でございます。

5月1日火曜日、熊山地域区長会14時から、第1回チャレンジデー実行委員会19時から、それぞれ教育長の出席でございます。

2日水曜日、岡山県都市教育委員会教育長会議のほうが10時からで、教育長の出席でございます。

また、7日月曜日、市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会がございまして、県総合教育センターで開催されます。教育長、委員の皆様、ご出席いただけるということで聞いておりますので、よろしく願いいたします。

10日木曜日、教育委員会関係の所属会を10時から、教育長の出席でございます。

12日土曜日、赤磐市PTA連合会総会13時30分から、教育長の出席でございます。

18日金曜日、総務文教常任委員会10時から、教育長の出席でございます。

20日日曜日、岡山県消防操法訓練大会9時から、教育長の出席でございます。

23日水曜日、赤磐市自治連合会の会議のほうが10時から、教育長の出席でございます。

それから、24日木曜日、教育委員会協議会を2時から、教育委員会定例会を3時から開催としておりますので、教育長、委員の皆様、よろしく願いいたします。

26日土曜日、豊田小学校運動会9時から、平松委員さんの出席と予定させていただいております。それから、吉井中学校の体育会のほうが9時から、大崎委員さんの出席の予定でございます。よろしく願いいたします。

教育総務課の関係は以上でございます。

○内田教育長 学校教育課長。

○松井課長 はい、学校教育課です。

では、そちらをごらんください。

まず、1日の火曜日ですが、校長会を行います。本来ですと校園長会ということでさせていただくのですが、この5月の初めというのが、いろいろと小学校の教育研究会であるとか中学校の教育研究会の総会等がありまして、なかなか日程の調整がつかず、今回については校長会と園長会を別日程で行うことにしております。園長会のほうは1週間後の8日の火曜日になっています。

それから、人事評価の関係で、9日の水曜日それから15日の火曜日に校長の当初面談を行う予定です。

また、17日の木曜日の午後には園長の面談を行う予定です。学校経営計画等の説明等をいただく予定になっております。

それから、28日の月曜日ですが、東備の地域の租税教育の協議会を行います。この赤磐市だけではなくて、この東備地域の市町の教育長さん等もお集まりになっての租税教育に関する協議会ということでございます。

学校教育課のほうは以上です。

○土井課長 はい、教育長。

○内田教育長 社会教育課・スポーツ振興課長。

○土井課長 はい、それでは社会教育課、スポーツ振興課あわせて説明させていただきます。

まず、社会教育課のほうでございますけれど、5月7日に赤坂教育集会所の運営委員会を赤坂教育集会所のほうで3時からさせていただきます。

続きまして、5月8日火曜日、城南ふれあいセンター運営委員会を城南ふれあいセンターのほうで19時からさせていただきます。

あと、重立った分についてのみ報告させていただきます。

あと、5月14日の月曜日ですけれど、第1回人権教育推進委員会を吉井公民館のほうで3時からさせていただきます。

あと、5月29日に青少年育成センター運営協議会並びに青少年問題協議会をそれぞれ1時と2時からさせていただきます。

それで、スポーツ振興課のほう、2点ほどちょっと漏れておりまして、済みません。

まず、5月1日、チャレンジデーの実行委員会が教育長のところの行事予定に書いておりますけれど、夜の7時から赤坂健康管理センターのほうであります。

5月5日、第21回磐梨旗争奪柔道大会が熊山武道館のほうで午前9時からあります。

それでもう一つ漏れとるのが、済みません、また5月30日なんですけれど、その他の項目でお話しさせていただきますけど、チャレンジデーの2018ということで開催予定にさせていただいております。

以上、社会教育・スポーツ振興課から報告させていただきました。

○内田教育長 はい、公民館長。

○杉原館長 はい、失礼いたします。公民館の主な行事予定です。

シリーズ物の講座、単発の講座を公民館で実施予定としております。

主なものとしまして、赤坂公民館で太鼓打ち教室、子ども向けの教室として、たんぽぽ会、中央公民館では放課後子ども教室、山陽公民館ではダイエットボクシング教室、西山

公民館ではアート教室、吉井公民館では天文教室等を予定しております。

また、先ほどスポーツ振興課のところの行事予定でご紹介させていただいておりますが、5月30日のチャレンジデーには中央公民館も「中央公民館でチャレンジ」と題しまして参画し、舞踊や健康スポーツを行っている公民館グループに対しまして無料開放して、地域の方々や近隣の保育園児たちも参加できるよう体験会を開催する予定で、現在募集をしております。

以上です。

○内田教育長 はい、図書館長。

○矢部館長 はい、図書館ですが、図書館のほうでは、ごらんのように子どもを対象とした、おはなしかい、あるいは絵本はともだち等の行事があります。

それから、それらのほかにつきましては、19日のきらり☆しあたい、これは毎月子ども向けと大人向けをかわりばんこにしておりますが、5月につきましては子ども版ということで実施します。

それから、29日のブックスタートですけれど、こちらは健康増進課での乳児健診の際に司書のほうが保健センターのほうに出向きまして実施する予定であります。

以上です。

○内田教育長 学校給食センター長。

○久山所長 はい、給食センターです。

5月2日、栄養士会ということで、中央給食センターで1時半から行います。内容としては、来月6月の献立のことを中心に協議いたします。6月は地産地消の週間がありますので、農林課の担当職員も出席しまして協議を行います。

以上です。

○内田教育長 ただいまの報告に対し、質疑、ご意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 それでは、いろいろありますが、よろしく願いいたします。

では次に、平成30年度赤磐市教育委員会事業計画についての報告を求めます。

○安本課長 教育長。

○内田教育長 総務課長。

○安本課長 教育総務課安本。

それでは、資料のほう、4ページをごらんいただきたいと思います。

4ページから6ページにかけまして、平成30年度の赤磐市教育委員会の行事計画についてまとめております。それぞれ所属別に各月の事業の計画を1つにまとめまして、教育部局の中でお互いに日程調整をしながら事業を実施してまいるものでございます。

それでは、表の一番左の教育総務課から順に主なものについて説明のほうをさせていただきます。

教育総務課につきましては、毎月の定例的なものがほとんどでございますが、教育委員会定例会、総務文教常任委員会などの開催予定を記載させていただいております。議会、本会議につきましては、開催時期のみを記載しております。表の網かけの部分につきましては、委員の皆様にご出席をお願いする行事や会議等となっております。

教育総務課からは以上でございます。

○内田教育長 はい、学校教育課長。

○松井課長 はい。それでは、学校教育課です。

学校教育課のほうでは、主には学校の行事を中心に入れさせていただいております。済みません。そして、日程のほうの間違いが幾つかありましたので、この場で訂正をさせていただきます。

まず、5月なんですが、先ほどご説明をしました当初面談がここ予定になっていたのが、日にちが決まった後、修正ができておりませんでした。10日の木曜日のところ、9日の水曜日にしていただいて予定を消してください。それから、11日の金曜日だったところを15日の火曜日にしていただいて、これも予定を消していただけたらと思います。申しわけありません。

それから、7月28日の土曜日、こちらが赤磐市の教職員の体育大会ということで毎年この時期に行っているのですが、これについても日程のほうはまだ確定ではありません。予定ということで入れさせていただいております。

それから、9月30日に網かけのところですが、小学校の運動会ということで、豊田・磐梨小以外ということなのですが、これ、土曜日ではなくて日曜日の間違いでしたので、こちらも修正をお願いいたします。

これまで春に豊田小がやっております、今回、磐梨小学校のほうの日が少しずれております、済みません、ここも網かけにする必要がありましたね。16日の日曜日に磐梨小の運動会ということでございます。お世話になりますが、よろしく願いいたします。

あとは、ちょっとまだ決まっていないものが多く、まだまだ不確定なものがたくさんあ

りますが、そのような予定でいかせていただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○内田教育長 はい、社会教育課・スポーツ振興課長。

○土井課長 はい、済みません。それでは、社会教育課の行事予定で、網かけしとる部分、皆さんに関係ある部分だけご報告させていただきます。

まず、5月ですけど、先ほど5月29日火曜日ということで、青少年問題協議会があるということでお伝えさせていただきました。

7月でございますけれど、毎年、青少年健全育成ブロック会議ということで中学校単位にしておりまして、今調整をしようります。また、早目に皆さんのほうにお知らせしたいと思ひますので、その節にはよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、第2回目のブロック会議でございますけれど、これにつきましては11月の下旬に、また昨年度やったようにもう全体会でさせていただいたらなと思っております。いうことで予定しております。

6ページをお開きください。

来年の成人式が1月13日にさせていただきたいということで考えておりますので、ご出席方またよろしくお願ひします。

それから、2月に青少年健全育成推進大会、2月の第1ということで、2月2日ということで、そちらのほうのご出席のほうもよろしくお願ひしたいと思ひます。

また前の4ページにお返りください。

スポーツ振興課ということで、先ほど済みません、5月の行事予定で、ここには書いとるんですけど、前のとこに漏れておりまして、5月7、11、14、それぞれ体育協の理事会、あとスポーツ推進員会、スポーツ少年団委員総会をそれぞれ行ひます。よろしくお願ひします。

ということと、あとは皆さんに関係あるものが、10月8日の月曜日、体育の日ということで、2018のスポレクフェステ赤磐のほうでまた山陽ふれあい公園を会場としてさせていただこうと思っております。

あと、6ページをお開きください。

12月ですけど、12月6から9日、男女全日本ホッケー選手権ということで、熊山総合運動公園のほうで開催させていただきます。それにつきましては、全国中継をするということで、皆様にも是非見に来ていただきたいということで、最終日のテレビ中継は9

日ですけれど、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上、社会教育・スポーツ振興課から報告させていただきました。

○内田教育長 はい、公民館長。

○杉原館長 はい、失礼いたします。公民館の行事計画です。

今年度も年間約100講座を実施予定です。この計画の見方ですが、済みません、講座名の横に西とか山とか赤とか書いてありますが、これはそれぞれ西山公民館、山陽公民館、赤坂公民館、熊山公民館、吉井公民館というふうに頭の文字だけを入れております。また、全6回とか全3回とか書いてありますが、これは講座の実施回数で、初回の日程のみを載せております。それから、月の末のほうで日程が入っていないものについては、現在調整中ということです。今年度も趣味的な講座、行政とタイアップした講座、青少年対象講座、子育て、ボランティア育成等のいろいろな講座を実施する予定です。

今年度の公民館まつりにつきましては、10月に吉井・高月公民館で、それから11月に中央・赤坂・笹岡公民館で、3月に山陽・西山公民館で開催予定としております。

それから1点、昨年度、高陽中学校のボランティアを中心に復活しました盆踊りにつきまして、今年度も実施予定としております。行事予定表の中では8月12日で予定をしておりましたが、市の行事等と重なるおそれもありますので、現在19日に変更しまして調整中でございます。修正のほうをお願いいたします。

以上です。

○内田教育長 図書館長。

○矢部館長 はい、図書館ですけれど、おおむね例年と同じ似たイメージの事業を実施するようにしております。

大きな事業としましては、4月24日から5月12日までのこどもの読書週間に合わせた絵本の展示、それから6月24日日曜日に6月6日で新しい図書館の10周年を迎えますので、その記念講演、それから10月に読書週間に絡めまして図書館まつり等の事業です。主な事業としては、そういうところです。

以上です。

○内田教育長 学校給食センター長。

○久山所長 はい、給食センターです。

毎月の月初めですけど、栄養士会ということで、献立であるとか食育だよりの発行であるとか衛生管理であるとか市内の栄養士で意識を統一しまして協議を行うようにしており

ます。

それから、6月と11月、地産地消の週間がございます。

それから、1月24日から30日、全国学校給食週間ということでテーマを決めて、また献立のほうを考える、特別な献立をつくるようにしております。

それから、7月と3月ですけど、学校給食共同調理場運営委員会ということで開催いたします。済みません。7月のほう網かけが抜けております。申しわけございません。

給食センターは以上です。

○内田教育長 ただいまの報告に対し、質疑、ご意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 はい。それでは、いろいろな行事がありますけれども、ご都合がつきましたらご参加のほど、よろしく願いいたします。

では次に、平成29年度末校長・教員等人事異動の概要についての報告を求めます。

○松井課長 はい、教育長。

○内田教育長 学校教育課長。

○松井課長 はい、学校教育課松井です。

それでは、資料の7ページをお開きください。

昨年度末それから今年度初めの教職員の転任・退任式、着任・新任式、ご出席ありがとうございました。そのときにも個々の教職員についての異動についてはご紹介をしたところなのですが、ざっと大きくまとめさせていただいておりますので、簡単に報告をさせていただきます。

まず、この7ページの上の段のほうは昨年度末をもって赤磐市からの転任者それから退職者の総数ということでございます。幼稚園につきましては、市内での異動しかございませんので、そうなりますが、小学校・中学校については、転任のところに転採、転補という書き方をしておりますが、転採のほうは市外への転出、転補のほうは市内での異動ということでございます。そのような形でごらんいただけたらと思います。

それから、一番右端のところには前年度の実績が書かれておりますので、そちらも比較していただけたらと思います。一番下には小学校・中学校の総計という形で載せさせていただいております。幼稚園につきましては、退職のほうは4名ということで、かなり多くの退職が出ました。それから、小学校・中学校につきましては、退職のほうも数が多かった状況がありますが、異動のほうはちょっと数が伸びておりませんので、前年度と比べて

はそう余り数的には変わっておりません。

今年度初めの下の段のほうになります。幼稚園のほうは5名の異動、それから小学校・中学校合わせますと51名の異動ということになります。前年度と比較していただくとよくわかるのですが、前年度は67名の異動がありましたが、51名の異動ということで、かなり数が減っているというのがおわかりいただけるかと思えます。特に小学校では、上の表と比べていただくと43名、退職とか転任とかされて、入ってこられたのが38名ということですので、かなり数が減っているということがわかっていただけるかなと思っております。ざっと数の報告でございました。

以上です。

○内田教育長 ただいまの説明に対し、質疑、ご意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 それでは、(2)に移ります。

議案の審議です。承認第1号、平成30年度赤磐市教育振興重点目標について、事務局から説明を求めます。

○安本課長 教育長。

○内田教育長 教育総務課長。

○安本課長 教育総務課安本。

それでは、資料の8ページをお願いいたします。

承認第1号、平成30年度赤磐市教育振興重点目標の承認について。

平成30年度赤磐市教育振興重点目標について、赤磐市教育委員会の承認を求める。

平成30年4月19日提出。赤磐市教育委員会教育長内田恵子。

それでは、別添の「平成30年度赤磐市教育振興重点目標」のほうをごらんいただきたいと思えます。

この平成30年度の赤磐市教育振興重点目標につきましては、平成27年度に作成いたしました赤磐市教育振興基本計画に挙げる主要施策に基づきまして、各課が平成30年度に重点的に取り組む事業を計画したものでございます。

まず、1ページをお開きください。

毎年の事業実施に当たり、教育振興基本計画を念頭に置いた教育行政を推進するために、教育振興基本計画に挙げる基本理念や基本方針を記載しております。

2ページのIV、下のほうになります。IVには教育振興基本計画の基本目標と主要施策

を簡略に明記、記載しております。1番の生きる力をはぐくむ幼稚園教育、学校教育の充実から5ページの5番の文化財保護並びに地域文化・芸術振興までを基本目標として挙げしております。それぞれの分野における取り組み、施策をお示しをしております。

次の7ページからこの5つの基本目標を実現するための平成30年度の重点施策をお示ししております。

それぞれの基本目標ごとに各課の推進事業を入れております。毎年事業の成果を検証して、教育行政の一層の向上を図ることができるように、それぞれに目標と概要、現状・課題といったような構成で作成をしております。本日は、この5つの基本目標の区分によりまして、重点施策をそれぞれ内容のほうを簡単でございますが、説明のほうをさせていただきまして、ご承認いただければと考えておりますので、よろしく申し上げます。

まず、教育総務課のほうから順番に説明のほうをさせていただきます。

7ページ、(1)のICT機器の整備事業でございます。

こちらにつきましては、現在、小・中学校に情報活用能力を身につけさせるためパソコン教室に教育用パソコンを導入しておりますが、機器についてはリース期間が長くなっておりますので、入れかえができるよう更新内容を取り決め、平成31年度には入れかえができるよう準備のほうを進めてまいります。また、新たに遠隔合同授業システムを整備して、小規模校と大規模校とを結んで合同授業などができ、そしてそれぞれの学校間で交流ができるように遠隔テレビ会議システムによる機会が設けられるよう今年度整備をするものがございます。

続いて、(2)の学校施設空調設備整備事業でございますが、こちらにつきましては、児童・生徒の健康管理や学習効果の向上のため、快適な学習環境を整備するために、今年度と来年度の2カ年で小・中学校の普通教室、音楽教室へ空調設備を設置するものがございます。今年度は8月末までにはエアコン設置ができればと考えております。

続いて、(3)の学校屋上防水工事でございますが、こちらにつきましては老朽化した、それぞれの小・中学校の屋上防水を行うものございまして、今年度は小学校を中心に8校の防水工事を実施するものがございます。

8ページをごらんください。

次の(4)でございます。学校施設改修工事でございます。

こちらにつきましては、小・中学校のプールの改修工事でございます。計画的な整備をするということで、先般計画のほうにつきましては教育委員会のほうでお示しをさせてい

ただいておりますが、その計画のもとに古くなった施設について、それぞれ改修をして、これからもプール授業をできるように進めていくものでございます。今年度につきましては、市内の小・中学校8校でそれぞれ改修工事を行います。

(5)の吉井中学校プール整備事業でございますが、こちらにつきましては平成28年度から事業のほうを進めておりまして、28年度には解体工事、29年度からⅡ期工事といたしまして29年度中に設計、今年度新築工事を実施していくものでございます。現在入札のほうも終わりました、工事のほうはもう入っている状況でございます、8月末までには一度プールのほうを引き渡しを受けて、9月には中学校の生徒の皆さんに一度でもプール授業ができればいいと考えて事業のほうを進めております。

続きまして、(6)の外国語指導助手配置事業でございます。

こちらにつきましては、小・中学校に配置し、外国語活動、英語教育、国際理解の充実と英語力の向上を図る授業でございまして、平成28年度5名、29年度6名のALTを配置しておりましたが、今年度から32年度から実施される小学校での英語教育の教科化に向けた取り組みといたしまして、2名増員いたします配置としております。これによりまして、授業に入る充足率を上げて、ALTの皆様の生の英語を聞いて学力向上につなげていきたいと考えております。

教育総務課からは以上でございます。

○内田教育長 学校教育課長。

○松井課長 学校教育課松井です。

それでは、8ページの下のところ、(7)産官学連携協力事業でございます。

昨年度から引き続きということで実施をしていきますが、実施校を絞り込んでいって、しっかりと活用できるような体制づくりをしてまいりたいと思います。それから、新しいものとしては、これまで小学校のほうで主にこの事業を行ってまいりましたが、中学生対象で英語の4技能の検定ということで、それを実施をして授業等に指導に生かしていくということで計画をしております。

それから、9ページ、(8)学力向上推進事業です。

こちらについても基本的には余り大きく変わった部分はございませんが、先ほどの人事異動等でも若い教員が随分増えているということ、それから教諭が転出した後、講師を配置したりするような学校もございまして、そういったところの授業力の向上を目指して、学校の中でももちろん研修をしていただくわけですけれども、学校教育指導員の配置とい

うのを学校教育課のほうに置いとりまして、その指導体制の充実、個々の教員の授業を見ながら個別に指導していくという、そういった形のものをしております。

また、ここには表記はしておりませんが、先ほど英語教育のほうでALTの配置も増員をしたというお話もありましたけれども、小学校のほうでやはり英語の外国語科の授業が入ってくるということで、外国語科の授業に関する指導員というのも新たに配置をしまして、そちらのほうについても教員の授業力向上に向けて個別等の指導をしていく予定になっております。

それから、（9）が不登校対策事業です。

こちらについても大きく変わったところはありませんが、県の事業にはなりますけれども、スクールソーシャルワーカー等の動き方というのが少し変わってきますので、そういったところとしっかり連携をとりながら早目の対応をしていくということを引き続き行ってまいりたいと思います。

（10）保幼小連携の推進でございます。

こちらのほうも接続カリキュラムということで作成をして今実施をしているところですが、なかなかやはり十分ではない部分もございます。そういったところについて少しでもうまく子どもたちがそれぞれの学びをつなげていけるように体制づくりをしていきたいというふうに考えております。

それでは少し飛びますが、11ページです。

2の家庭・地域社会の教育力の充実ということで、学校教育課のほうでは（2）地域学校協働本部事業のほうを挙げさせていただいております。

これは地域住民等の学校教育への参画ということで、学校の教育活動を支援する仕組みをつくって、学習環境整備でありますとか学習支援等の支援をしていただきながら、学校、家庭、地域が協力して、子どもたちが安全・安心な学校ということで課題解決を図っていく事業でございます。これも継続している11校がございます。かなり活動のほうも充実しているところでもありますけれども、さらに実質的な活動を行っているような学校にもそういった実施に向けた調整等も行っていきたいと考えております。

学校教育課は以上です。

○内田教育長 社会教育課・スポーツ振興課長。

○土井課長 はい。それでは、社会教育課のほう説明させていただきますので、お手元の資料の11ページをお開きください。

(1)の青少年健全育成事業につきましては、例年と一緒にすけれど、ブロック会議を昨年と一緒に7月は中学校区、あと11月は全体ということで考えさせていただいております。

あと、12ページの(3)番、放課後子ども教室推進事業でございますけれど、こちらの目標のほうにも書いておりますけど、例年は5教室でございましたけど、新規2教室ということで、昨年の途中から中央公民館のほうもこちらのほうにさせていただくとということで、今年度予算措置をしております。あと、笹岡小学校も従来こちらのほうの事業に該当するんじゃないかということで、そちらのほうも今年度新規として補助要望を上げるとる次第でございます。

あと、(4)家庭教育事業につきましては、例年と一緒にございます。

あと、(5)人権教育推進事業につきましては、今年が現状と課題のところを書いとんどすけれど、人権に関する意識調査を5年に一度させていただいて、それに基づいて来年度は第3次赤磐市の人権教育啓発推進計画の素案を作成するようにさせていただいております。市内の皆様には8月頃にはアンケートのほうを郵送するように頑張らせていただこうかと思っております。

続きまして、社会教育に関係ある部分が、17ページをお開きください。

下のほうで(1)文化財保護啓発事業でございますけれど、今年は例年の事業に加えまして、現状と課題のところを書いとんどすけれど、山陽団地造成の発掘調査から50周年を迎えるということで、これを契機に郷土の再発見をするということでマップをつくったらということで、文化財マップをつくったらということで考えております。そのマップにつきましても、子どもたちの目線でのマップづくりをしようかなということで現在考えておる次第でございます。

(2)史跡保存整備事業でございます。

これにつきましては、昨年から両宮山古墳の墳丘裾の整備工事をしておりますけれど、その2年目ということで予算化させていただいております。

(3)資料館運営事業ですけれど、例年の山陽・吉井郷土資料館の運営以外に、今年につきまして山陽郷土資料館が雨漏りをしとるとということで、老朽化対策として屋上の防水工事を行うようにさせていただいております。

あと、(4)みて、ふれて、学ぶ赤磐の歴史学習支援事業につきましては、例年の事業でございます。

あと、(5) 永瀬清子の里づくり事業でございますけれど、これも例年の事業でございますけれど、その中で目標値を300人にしております。前年度は実績360人ということでございますけど、前年につきましては実は先般ちょっと亡くなられたということで報道されております高畑監督を呼びまして、そういうメジャーな方を呼んだら、かなり参加者も増えるということでございます。今年につきましては、そういうメジャーな方がなかなかいないということで、例年の目標値にさせていただきました。

社会教育は済みまして、続きましてスポーツ振興もあわせて説明させていただきますので、お手元の資料の16ページをお開きください。

(1) 生涯スポーツ推進事業ということで、これにつきましても例年の行事でございますけれど、それぞれの開催におきましては、スポーツ推進員の皆様また市の体育協会の皆様、あとシルバー人材センターの関係の方等で、いろいろとスポーツ施設等を使いながら各種事業をさせていただこうと思っております。

(2) チャレンジデー2018ということで、今年は9回目になります。その他の項目で、またご説明させていただきますけど、今年も実施させていただくようにしております。

(3) 2018スポレクフェステ赤磐でございますけれど、こちらにつきましても毎年体育の日ということで、山陽ふれあい公園を主会場にさせていただいております。例年のようにさせていただくんですけど、ここにつきましては目標値ということで前年度実績が3,500人、今年の目標は3,000と500人下がとんどですけど、昨年は桜ヶ丘球場で桑田真澄氏による野球教室ということで、コナミスポーツのほうからわざわざ桑田真澄氏を呼んでいただいた分が500人増えたということで、なかなか今年につきましては、まだそのような特別なことをしてないということ、考えてないということで、例年の目標値にさせていただきました。

あと、(4) オリンピック等キャンプ地誘致の推進ということで、今年から新たにこの項目を設けさせていただいておりまして、熊山の運動公園を整備しながら来る東京オリンピックのためにキャンプ誘致をしようということで、現在赤磐市ではホッケー競技でニュージーランドの女子ホッケーを誘致できたということ今動いております。それに伴いまして、12月6日から9日に全日本ホッケー選手権を熊山運動公園のほうでさせていただこうということでございます。もちろんニュージーランドのほうにも行きまして、また相手国からもこちらに来ていただきながら、東京オリンピックの前に来ていただいたらと

いうことで、そちらのほうの事業をさせていただきまして、ホストタウン登録もしながら交流を深めていけたらと思っております。

17ページをお開きください。

(5) 熊山運動公園整備事業ということで、先ほどもキャップ誘致で言いましたけれど、熊山運動公園の多目的広場等がホッケーを主に使われとるということで、それにつきましても岡山国体のときに整備させていただいて以後15年ほど経過しております、もう既に老朽化されとるということで、今年度東京オリンピックのキャンプ誘致を目的としながら大きな大会も今後については呼べるような分をしていこうということと、そこにはテニスコート、野球場もございますので、そちらのほうの大会等、また講習会もできるようにあわせて整備させていただいたということでさせていただいております。

以上、社会教育・スポーツ振興のほうから説明させていただきました。

○内田教育長 はい、公民館長。

○杉原館長 はい。それでは、公民館につきまして、13ページをごらんください。

(1) の公民館主催講座です。

「子育てするなら赤磐市」の実現に向けて、家庭教育として母親向けの子育てに関する学習活動、また親子で参加する講座や子どもの居場所づくりなどを行うことによって、安心して子育てができる環境を整えるということで、特に20代、30代の男性の受講者が少ないということで、今年度は中央公民館で「パパと一緒に遊ぼう」という講座を開催する予定です。子育て中のお父さんにも参加がいただけるような講座ということで今年度実施をいたします。公民館に来たことがない人が足を運んでくれるような、また人が集まって地域の拠点となるような公民館を目指して、いろいろな講座を展開していきたいと考えております。

それから、(2) の中高生の地域活性化事業でございますが、今年度も中高生ボランティアの募集を行います。中高生ボランティアが公民館まつりなどの地域のイベントに参画をして、祭りを盛り上げるだけではなく、地域の住民と触れ合いながら住んでいる地域の課題を探って、自分たちの手で課題解決に取り組んで、地域への愛着心を醸成するような取り組みをしていきたいと考えております。昨年度は山陽地域で、高陽中学校において12年ぶりに地域の地踊りの復活を行いました。また、吉井地域でもボランティアの方々が公民館まつり等に参画しまして、課題解決に向けて取り組んでおります。今年度もまた赤坂・熊山地域のほうでも中高生ボランティアの参画を図って、中学校等と調整を行

いながら事業を進めていきたいと考えております。

続きまして、14ページの(3)公民館まつりでございます。

年々、公民館まつりの来館者数が減少傾向にございますが、昨年度も中高生ボランティアが参画しまして、模擬店の出店等で盛り上げていただきました。今年度も中高生ボランティアの参画もお願いしながら、まつりを盛り上げていきたいと思っております。また、幼稚園や小学生の参加を促進するようなイベント、例えば消防署の消防車とかの展示をしたりとかということで、そういった幼稚園、小学生たちが参加しやすい、まつりの展開も企画をしております。

(4)の公民館グループ活動支援事業ですが、こちらのほうも公民館グループが増えたり減ったりとなかなか数字のほうが増えたり減ったりという状況ではあります。特に公民館グループの中で計画して生涯学習を行える環境を整えるべく、公民館主催講座の中で公民館グループの体験講座を実施して増員を図っていくようにする予定にしております。

以上です。

○内田教育長 はい、図書館長。

○矢部館長 はい。図書館のほうにつきまして、公民館に続いて14ページの一番下の(5)から説明いたします。

まず、(5)の図書館資料の収集です。

「市民の暮らしに役立つ図書館」を目指すということで、特に「子育て応援関係資料」の充実を図る予定であります。現在におきましても、図書館の中に子育て応援の関係、特に特設の棚を設置して推進しております。それからまた、県内はもとより全国的にも高い利用率でありますので、これを維持するべく、特に利用者のニーズに沿った資料の収集ということに重点を置いて事業を進めたいと思っております。

それから、15ページに移りまして、(6)です。

子どもの読書活動推進事業ということで、事業計画のところでも少し触れましたが、「子ども読書の日」、また「こどもの読書週間」が設定をされております。これに絡めたイベント等を実施すること、それから図書館内の児童書コーナーがあるんですけども、そちらのほうでも特にお薦めの本を別の棚に置くとして進めてまいりたいと思います。また、絵本のおよみかせ、あるいは人形劇団等に学校等へ出かけての「お出かけ図書館」等の事業も行う予定です。それから、小学校等の団体貸し出しを推進するというので、従来貸出点数を150としておりましたが、これを無制限として貸し出すように変更してお

ります。

続きまして、(7)の図書館の運営・事業の見直し、及び改善に向けての検討であります。

まず、指定管理者制度の導入を見送るということを前年度に決定しております。ただ、それ以上に魅力的な図書館になるようにということで、1つにはサマータイムの通年といえますか、常時の実施ということで、開館時間を大まかに言いまして前後1時間ずつ拡大するという、6月から8月をサマータイムとしまして開館時間を拡大するというふうに変更しております。

それからまた、事業としましては、「市民の暮らしに役立つ図書館」ということにもつながるんですけども、子育て講座を開催する予定であります。

図書館の事業につきましては、以上です。

○内田教育長 はい、学校給食センター長。

○久山所長 はい、給食センターです。

資料の10ページのほうをごらんください。

(11)食育推進事業でございますけれども、食育だよりの発行やパネルの制作により、児童・生徒に対して、地域食材の生産者の紹介から給食ができるまでの過程の中について子どもたちに発信していきます。また、市内の幼児・児童・生徒を対象とした食育に関するポスター・標語展を開催し、基本的な生活習慣の向上に向けた啓発活動を行う事業でございます。

(12)地域食材の利用促進でございますが、給食献立に地域食材を積極的に取り入れ、児童・生徒へ安心・安全で質の高い学校給食を提供することを目的としております。目標には、利用割合、利用品目の割合を挙げておりますが、年間を通して利用品目の向上や量に関しても地元の地域食材が使えるよう関係機関と連携をしてみたいと思っております。

(13)中央学校給食センター施設維持管理事業でございますが、老朽化した中央学校給食センターの食器消毒保管庫4台と電気式の回転釜6台を更新する事業でございます。給食のない8月に事業を完了したいと思っております。

11ページのほうをごらんください。

(14)学校給食業務の運営体制の検討ということですが、行財政改革の方針のほうから、職員の定員管理計画によって、正規調理員の定年退職後は再任用調理員や臨時

調理員を採用して人員を確保しているところでございます。今後の学校給食業務の適正な運営について検討を重ね、安心・安全で質の高い、おいしい給食を安定的に学校や園に提供することを目的としております。平成29年度においても、学校給食共同調理場運営委員や市議会等、学校給食業務の運営体制について説明を行ってきました。平成30年度についても、関係者へさらに具体的な説明を行い、安心・安全を第一に考え、学校給食の望ましい運営体制について、さらに検討を進めていきたいと考えております。

給食センターは以上でございます。

○内田教育長 はい、ありがとうございました。

ただいまの説明に対し、質疑、ご意見はありませんか。

○大崎委員 はい。

○内田教育長 大崎委員。

○大崎委員 失礼します。公民館なんかの関係で、(2)、(3)で中高生という言葉がたびたび出ます。つい先日ある人から何か高校生のほうも結構たくさん参加してくれようらしいないうて言われたんですけど、私ようわからんかって、何か中学生のほうがよく頑張ったりしてというようなことは言うんですけども、結構高校生のほうも参加してくださいとんですか。

○杉原館長 はい、昨年度、吉井地域で吉井公民館のほうで中高生ボランティアを活用した公民館まつりですとか、地元のお祭りに、その時期がちょうど中学校の行事と重なった関係で、瀬戸高の瀬戸校生のボランティアがお祭り等に参加して実施したということを知っております。

○大崎委員 ほんなら、大体私が言うたんと同じような感じで。

○杉原館長 はい。

○大崎委員 ほいで、高陽中学校、今年2回目になってきますので、昨年は中学生が主体でされたんですね。そうしたこと、中高生のようなことは、去年頑張って運営なんかしてくれた中学生が高校生になつとると思うんです。そういうような子も対象に入っていたかというようことですかね。

○杉原館長 そうですね、はい。高陽中の卒業生にも声がけをして、今度は支援する側から応援をしていただいて、一緒に参画してやっていただこうと思っております。

○大崎委員 はい、楽しみにまた……。

○杉原館長 はい、ありがとうございます。

○大崎委員 はい、また利用させていただきます。

○杉原館長 はい、よろしくお願いします。

○山本委員 はい。

○内田教育長 はい、山本委員。

○山本委員 その関係、確認なんですけども、赤坂中学校の生徒かなんかが公民館活動にかかわっていたんじゃないかと思うんですけど、前年度実績ゼロ人というのは。

○杉原館長 中高生の地域活性化事業の中高生ボランティアとして登録という形ではなくって、赤坂中学校については、学校教育の中で、ちょっと何年生かは、済みません、ちょっとあれなんですけど、学年全体で公民館まつりに参加するというふうになっているというふう聞いております。ですが、学校授業ではなくって社会教育として今後はみずから手を挙げていただいて、中高生ボランティアとして公民館まつりであるとか地域の事業に参加していただくような仕組みをつくっていききたいなというふう考えております。

○内田教育長 よろしいですか。

はい、ほかにはありませんか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 はい。それでは、これもちまして質疑討論を終結し、承認第1号を採決します。

本案を可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○内田教育長 本案は原案のとおり可決といたします。

では次に、議案第1号、赤磐市費負担教員の任用等に関する規則の一部を改正する規則について、事務局から説明を求めます。

○松井課長 教育長。

○内田教育長 学校教育課長。

○松井課長 はい、学校教育課松井です。

それでは、9ページをお願いいたします。

議案第1号、赤磐市費負担教員の任用等に関する規則の一部を改正する規則について。

赤磐市費負担教員の任用等に関する規則の一部を改正したいので、赤磐市教育委員会の議決を求める。

平成30年4月19日提出。赤磐市教育委員会教育長内田恵子。

それでは、10ページ、11ページをごらんください。

実は3月のこの会議でもこの規則についての改正をお願いしたところでありましたけれども、同じように前回は給料表の改定をご審議いただいたかと思いますが、また県のほうから教育職員の特殊勤務手当の変更ということで通知が参りました。3月23日に公布をされて、30年4月1日から施行ということで出ています。それに伴って変更をさせていただきたいということでございます。

11ページのほうの現行のものと改正後のものとを比較して見ていただくのがわかりやすいかと思いますが、まず1つ目は児童・生徒を引率して行う宿泊を伴う行事等の引率に関するもので、これまで「4, 250円」、1日につきだったものが、「5, 100円」というふうに金額のほうに変更になっております。また2番目としまして、学校管理下で行われる部活動の指導等で3時間45分もしくは4時間である日に行うようなものについては、1日につき「3, 000円」といったものが、これが「3, 600円」というふうに改めるものでございます。

それからもう一つ、この機にですが、第23条のところなんです、こちらが「別表に掲げる期間」というふうに書かれておりまして、この「別表」というのがやはり文言としてあまりよくないということで、そここのところの文言のみの修正ということで、「同表に掲げる期間」というふうにここを修正させていただきたいということでございます。よろしくお願いいたします。

○内田教育長 ただいまの説明に対し、質疑、ご意見はありませんか。

○大崎委員 はい。

○内田教育長 大崎委員。

○大崎委員 県のほうが上がって、市費の職員の人も上げようということですが、県と同額、一緒なんですかね。同じ額を市の人ももらえると。

○松井課長 はい。

○内田教育長 学校教育課長。

○松井課長 ご質問ありがとうございます。県の通知に従って額のほうも変更しているということでございます。同額で改正をさせていただいています。

○大崎委員 市費の人が少なかったら、かわいそうだなと思うと、同じだけのことをしてから、はい、了解です。

○内田教育長 ほかにはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 はい。それでは、これで質疑討論を終結し、議案第1号を採決します。

本案を可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○内田教育長 本案は原案のとおり可決といたします。

では続いて、(3) その他の案件に移ります。

まず、チャレンジデー2018の開催についての説明を求めます。

○土井課長 はい、教育長。

○内田教育長 スポーツ振興課長。

○土井課長 はい。それでは、お手元の資料の12ページをお開きください。

チャレンジデー2018ということで説明させていただきます。

今年の対戦相手が、ごらんのように島根県雲南市に決まりました。これは全国一斉にするということで、5月の最終の水曜日ということで、今年につきましては5月30日ということになります。午前0時から午後9時の間に市内で15分以上の運動をした者の参加率を競うイベントということでございます。例年のように参加していただいた方の中から抽選で100名の方にお土産が当たることをしたり、あとそれぞれの投票率が上がるようにそれぞれの地域で公共施設またはお店等で投票箱を設置しながら投票していただくようにさせていただいております。

また、ホームページからもアクセスできるようにはさせていただいております。当日何を大体するかというので、こちらの13ページのほうに、市役所ではラジオ体操、あとIPUの大学のほうで、それぞれの会場で運動に関することをしていただくというのと、チャレンジデーの2018の空き缶積み上げ大会、これにつきましても全国で競う大会で、毎年人気がありまして、その辺を山陽ふれあい公園の体育館のほうでさせていただこうと思っております。

あとは、ソフトバレーボールのほうにつきましては、吉井B&Gの海洋センターのほうで開催してくださるということで、そちらのほうもかなり人気で参加があるということで、今年はそのようにさせていただこうかと思っておりますので、また広報等、新聞等でも宣伝いたします。皆様方につきましても、それぞれ参加していただけるとともに、皆様のほうに啓発のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

以上、チャレンジデー2018についてご報告させていただきました。

○内田教育長 ただいまの報告に対し、質疑はありませんか。

○山本委員 はい。

○内田教育長 山本委員。

○山本委員 2番の國友先生の運動教室を山陽ふれあい公園のどこで書いてないんで、どこに行こうかと思ったりするんで。

○土井課長 なるほど、場所ですね。

○山本委員 公園といっても広いから、どこに行ったらいいかわからない。

○土井課長 わかりました。

○内田教育長 ほかにはありませんか。

○土井課長 場所がわかるように、はい。ありがとうございます。

○内田教育長 今年も企業めぐりされるんですよね、企業めぐり。

○土井課長 企業めぐりも考えておりますけど、いろいろなところに参加できるように。企業、あと区長会、あと民生委員さんとか愛育、栄養とかの各種団体にもお願いするようにしております。

○内田教育長 私立の保育園には。

○土井課長 私立の保育園のほうにも参加依頼ということで案内のほうを出させていた
だいておりますのととも、毎年啓発の旗もそこに設置させていただくようには考えてお
ります。

○内田教育長 これまでにも報告があったんですか、園児何名という。

○土井課長 はい、はい、はい。毎回私立と、あと公立についてもご報告いただくよう
にお願いやらさせていただきながら、なるだけそういう、もう市内で15分以上運動した
ところには積極的に申請とともに聞きをお願いをしております。

○内田教育長 ということで、毎回積み上げていくと、やっぱり市民の皆さんとか協力
してくださる方々は参加率がどれだけになったかというのは、意外にそちらのほうにも目
を向ける方が出てくるのではないかと、上がれば上がるほど、どんどんどうい
うような協力呼びかけをしていこうかというのは大変になってくるのではないかと思
うので、そのあたりは策を練っていかないといけないのかなというように思
っています。参加するんだっ
たらですよ。思っています。

○土井課長 各種団体、区長会さんなんかは、もうかなりコミュニケーションの場にも

なるということで、区長会また老人クラブは率先して何か周知徹底していただけるということで、そういう団体を通じて、いろいろ周知徹底していただければ、参加率も上がるのかなということで思っております。島根県雲南市もかなり参加率が高く、うちと、去年うちが61.何%で、それで島根県62%ということで、接戦のところです。人口規模も約4万人切っとるぐらいで、かなり手ごわいとこじゃなと思いつつながら、いろいろ作戦をやらにゃおえんと思っております。

○内田教育長 はい、よろしく申し上げます。

○土井課長 はい、よろしく申し上げます。

○内田教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 それでは、ほかにないようでしたら、その他の案件がありますか。

○安本課長 ありません。

○内田教育長 ありません。では、ほかにないようでしたら、次回定例会開催日を議題とします。お願いします。

○安本課長 はい。

○内田教育長 教育総務課長。

○安本課長 教育総務課安本です。

それでは、資料の最初のページのほうをごらんください。

(3) その他のところの2つ目ですが、次回の定例会開催日についてでございます。

次回につきましては、平成30年5月24日木曜日、午後3時からとさせていただいておりますので、ご出席のほうよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○内田教育長 それでは、次回の定例会開催日を5月24日木曜日、午後3時に決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 それでは、平成30年5月24日木曜日、午後3時から次回教育委員会定例会を開催させていただきます。

以上をもちまして今回付議された、すべての案件が終了となりました。

これをもちまして平成30年度第1回赤磐市教育委員会定例会を閉会とします。お疲れさまでした。